お済みですか？
住まいの家具転倒防止対策！

阪神・淡路大震災では、多くのかたが家屋の倒壊や家具などの転倒が原因でけがをしたり、亡くなられたりしました。
ここでは、住まいの地震対策として、最も身近にできる家具の転倒防止策についてご紹介します。

総務課防災対策室　☎㉕１１１８

転倒防止器具で家具を固定しましょう

室内での被害を防ぐためには、家具類の置き場所を見直し、部屋の出入口や避難経路付近には家具類を置かないようにすることと、個々の家具をしっかりと固定しておくことが大切です。

家具は壁の桟や鴨居に固定しましょう

家具の桟と、壁の桟や鴨居などの横木とをＬ型金具（図１）で固定します。

鴨居や横木が家具の上端から離れている場合は、スライド式Ｌ型金具（図２）やベルト式器具（図３）で固定します。

※ベルト式器具は、たるみがないように取り付けます。取り付け個所がベルトで長さ調整できます。家具の側面との角度が小さいほど効果的です。

２段重ね家具は上下を連結させます

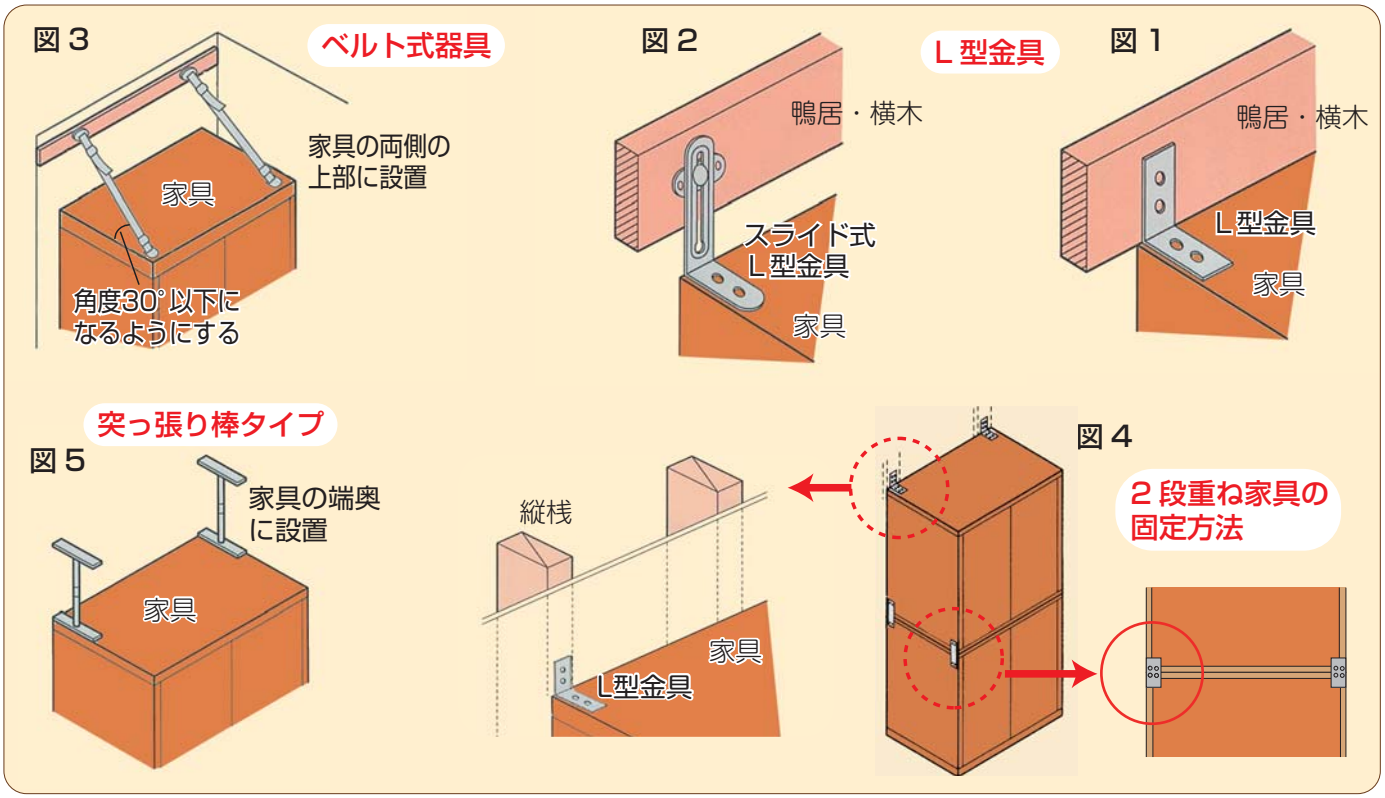
上下に積み重ねるタイプの家具は、最上部だけを壁の桟に固定しても、重なっている部分が地震の揺れでずれてしまい、転倒する危険があります。家具の側面などを平型金具で固定するか、上下の家具それぞれを壁の桟に固定してください。（図４）

突っ張り棒タイプ器具で固定する場合

壁に桟や鴨居などの横木がない場合には、タンスなどの天板と天井をポールで突っ張って固定します。（図５）

※天井が板張りや石こうボードなど弱い場所では、揺れにより突き抜けることがあるため不向きです。

鉄骨造りなど天井がしっかりしており、天井とのすき間が少なく奥行きのある家具に向いています。



家具転倒防止器具を支給します

市では、高齢者や障がい者のかたの住まいの安全対策として、地震発生時の家具転倒による事故を防止するため、「家具転倒防止器具」を無料で支給します。ぜひ、この機会にお申し込みください。

なお、昨年度支給を受けられたかたは、対象となりませんのでご注意ください。

対象世帯

市内に住所を有し、次のいずれかに該当する世帯

・70歳以上の高齢者のみで構成される世帯

・身体障害者手帳（1級・2級に限る）の交付を受けている世帯

・介護保険法の規定による要介護認定（要介護3以上）を受けているかたの属する世帯

申込方法

「家具転倒防止器具支給申請書」に必要事項を記入し、関係書類を添えて、総務課防災対策室（本庁舎2階）へ提出してください。

申請書は、総務課防災対策室のほか、健康福祉課介護保険係（市民文化会館1階）、保健福祉センターひだまり、各連絡所でも配布しています。また、市ホームページ（アドレスは最終ページに掲載）からもダウンロードできます。

申込期限

8月3日(月)～31日(月)

支給器具の種類

次の①②③の中から、合計3組（6個）まで支給します。取り付けたい家具の状況に合った器具を選んでください。

①L型金具（1組2個）

②ベルト式器具（1組2個）

※ベルトの長さ80㎝までです。

③突っ張り棒タイプ（1組2個）

※家具と天井の間の寸法が90㎝まで固定できます。

どの器具を選べばよいかわからないかたは、総務課防災対策室に相談してください。

支給方法

支給が決定した世帯のかたには、後日、市から「家具転倒防止器具支給決定通知書」を送付しますので、通知書と引き換えに総務課防災対策室で器具を受け取ってください。

なお、各連絡所で受け取ることもできますので、ご希望のかたは、連絡してください。

取り付けについて

高齢者、障がい者のみの世帯で、支給器具の取り付けが困難な世帯については、取り付けを支援します。

申請により、事前に調査を実施し、市職員またはボランティアなどの協力を得て、取り付けを行います。

◆　◆　◆　◆　◆

この事業を実施するにあたり、いくつかの注意事項があります。申請時に、その事項についての確約書を提出していただく必要があります。

くわしくは、総務課防災対策室へ問い合わせてください。

こうならないためにも家具を固定しましょう

家具を固定して安全・安心な生活を

昨年度、「家具転倒防止器具」支給の申し込みをいただき、取り付けを行った三丁目の大西さんと藤川さんにお話を伺いました。

大西さち子さん

わが家では、食器棚と寝室にある本棚をL型金具とベルト式の器具で固定してもらいました。台所と寝室は生活に密着した場所なので、固定してもらったことでとても安心しています。

また、せっかく家具を固定しても、上に物を置くと地震のときに落ちてきて危険だと教えていただき、何も置かないようにしました。一人暮らしなので、自分の身を守るためにできることは、きちんとやっていこうと思っています。

藤川　まささん

わたしは、寝室にたんすを2棹置いています。寝室には、倒れてくるようなものや重いものを置かない方がいいことはわかっているのですが、ほかに置く部屋もありません。一人暮らしですし、寝ているときに地震が起きたらと思うととても心配でした。

昨年、市から支給されたL型金具とベルト式の器具をボランティアのかたに取り付けてもらいました。家具を固定してもらってから、寝るときも安心になり、喜んでいます。